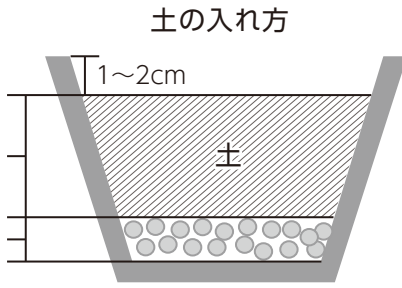




準備ができれば、さっそく植えてみましょう！

土づくり

今回はホームセンターなどで購入できる培養土を使用します。鉢底石を使うときはプランターの底に2、3センチメートルほど敷き詰め、その上に土を入れます。



土は水をあげたときにあふれないように上から1、2cmくらいまで入れる
鉢底石(2~3cm)

過去に使用したことのある土を使う場合は野菜の生育に必要な養分が失われているので、再生土などを利用して不足した養分を補ってから使用しましょう。

植える

まず、苗をポットから取り出し、表面の土を手で崩します。ほぐす際に根を切らないように注意しましょう。崩し終わったらプランターに掘った穴に入れ、周りの土を集めて根が倒れないように土をかきます。

ポイント

プランターは風通しが良く、日当たりがいい場所に置いて育てましょう。雨が降りかかる場所で育てると、水やりの管理がしにくくなるので、雨が直接あたらない場所で育てるようにしましょう。



毎日の手入れが成長を大きく左右します。がんばりましょう！

水やり

土の表面が乾いていたら、水やりをします。昼間に成長するので、朝あげるようにしましょう。あがる水の量は、晴れた日はプランターの底から流れ出すくらいたっぷりと、雨や曇りの日は晴れの日の10分の1くらいあげましょう。

〜植えてから10日程度〜

誘引

草丈が40センチメートルほどに伸びたら真っすぐ成長するように支柱を立て、茎をひもで縛ります。

誘引と同じタイミングで行う作業 芽かき

わき目に栄養を取られないよう、芽かきします。わき目とは茎と葉の付け根の部分から新しく生えてくる芽のことです。



追肥

土に肥料を追加します。肥料は株に直接触れないように、プランターの縁側にまきまきよう。分量は肥料によって異なるので、パッケージの説明を確認してあげすぎに注意しましょう。以後、2週間ごとに追肥を行います。

〜植えてから20日程度〜

開花・着果

植え付けから20日程度で小さな黄色い花が咲きます。花をそつと揺らすと受粉しやすくなります。受粉が終わると実が出来る段階に入ります。確実に実らせたい方は着果促進剤の使用をおすすめします。



摘芯

緑の実が付き始めると、茎の高さもかなり高くなります。茎と葉の成長を止め、実に栄養分を回すため、先端に手が届かなくなったら、茎の先端をはさみで切ります。